

LNBF BT-380A 取り扱い説明書

この LNBF は偏波電圧切り替え型 C バンド LNB とフィードホンが一体となっています。

灰色のキャップはつけたままご使用ください。

LTE・3G・4G など携帯基地局の混信を軽減するフィルターが内蔵されています。また局発周波数は水晶発振で制御される (phase locked loop) ですから精度が高く安定です。

偏波切り替え

偏波角の切り替えは、13V(14V)/18V の電圧切り替え方式です。13V(14V)で垂直偏波、18V で水平偏波になります。円偏波を受信する場合は、別売の誘電体板を溝に入れてねじロックなどで簡単にとめてください。垂直偏波 13V(14V)で使用すると右旋回偏波、水平偏波 18V とすると左旋回偏波になります。

F/D の調整

フィードホン部を、使用するアンテナの F/D にあわせて調整してください。Fig 1 のようにスケーラーリングの後端を F/D 値にあわせてねじで固定します。アンテナの F/D がわからないときは、0.35 にあわせてください。

取り付け角度

LNBF の取り付け角度は Fig2 ~ Fig4 を参照ください。

LNBF から反射鏡に向かってみて Fig 2 の偏波角 0° の角度に取り付けてください。

ただし目的の衛星が東西に偏っている場合は、見かけの偏波角がずれるので、左右に回して見かけの偏波角と LNBF の偏波軸とを合わせる必要があります。

ASIASAT5/7, THAICOM など、西に偏った衛星は、反時計方向に 35 度 (Fig 3 参照) ほど回します。逆に Intelsat8/19 のように東に偏った衛星は、時計方向に 35 度 (Fig 4 参照) ほど回します。回す角度は受信地や受信する衛星によってさまざまです。ポラーマウント式アンテナの場合はアンテナが真南を向いた状態で 0° (Fig 2) の角度に取り付けて下さい。受信状態を見て、最も良いところに微調整してください。コネクターは防水テープで防水してください。

同軸ケーブルの接続は、スパナを使用しないで、手で締めてください。

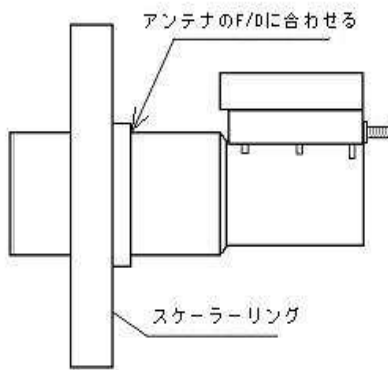
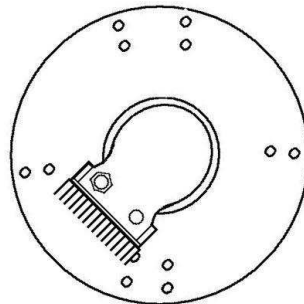
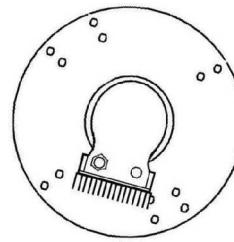


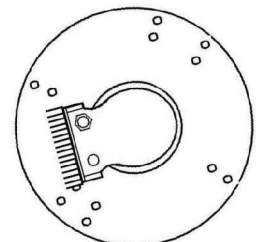
Fig 1



偏波角 0°
Fig 2



CHINASAT6B
ASIASAT5/7 など
Fig 3



Intelsat19 など
Fig 4

Input Frequency	3.4 to 4.2GHz
L.O. Frequency:	5150MHz(±500 MHz@25)
Output Frequency	950 to 1750 MHz
L.O. Leakage Input Port	45dBm
L.O. Stability	±1.5MHz(-40to+70)
Noise Figure	15°K typ
Conversion Gain	65dB typ
Gain Flatness	±1 dBm(max)

Output Connector	F-female Connector
Output Impedance	75
Cross Polar Isolation	20dB(min)
Phase Noise	-75dBc/Hz@10kHz(max)
Supply Voltage	11.5-14.0v(Vertical) 16.0-19.0v(Horizontal)
Operating Temperature	-40to+70

<http://www.kontec.com>

輸入・発売元 **コンテック**

430-0925 浜松市中区寺島町 324

TEL 053-458-7068